

第12回 日銀グランプリ決勝大会 審査員講評

審査員長 岩田 規久男	(日本銀行副総裁)
審査員 朝田 照男	(経済同友会副代表幹事、丸紅株式会社取締役会長)
鳥海 智絵	(野村信託銀行株式会社執行役社長)
原田 泰	(日本銀行政策委員会審議委員)
布野 幸利	(日本銀行政策委員会審議委員)

1. 総評

皆さん、プレゼンテーションお疲れ様でした。

皆さんの提言は、多様な問題点や課題を把握し、統計データに加え、実務家への聞き取り調査やアンケート等を通じて、自身の抱いた問題を解決しており、具体的で実現可能性を感じさせるものでした。

本日のプレゼンテーションも、様々な工夫がこらされていました。また、審査員から専門的かつ高度な質問を受けても、自分たちの考えを堂々と提示し、さらに審査員と議論を深めていました。そうした若い皆さんの姿は大変頼もしく、また嬉しく感じたところです。

2. 個別の論文について

それでは、個々の論文ごとに講評を述べることにいたします。

【最優秀賞】 東京理科大学

「きものな休日 神楽坂 ～地域通貨「神楽坂きもの小判」ときものレンタルを利用した『和の街づくり』～」

東京理科大学チームの提言は、地域通貨と着物レンタルを組み合わせ、神楽坂の街らしさを活かしつつ、街の振興につながるシステムを提案されました。

統計データや独自アンケートから着物レンタルの潜在需要を分析し、レンタル着物店や神楽坂商店街におけるヒアリング調査をすることにより、神楽坂商店街の抱える問題を明確にしております。

また、着物レンタルに際して、消費者に地域通貨を提供することにより、街に着物を着る人が増え、それがさらなる集客を産むという好循環を企図している点も大変魅力的であります。

割引によるコストを集客増によってどの程度かつどのようにカバーできるのか、着物の着付けのハードルをどのようにクリアするのかについての検討を加えると、より現実的なプランになると思います。また、商店街におけるレンタル着物店と他店の不平等感をどのように解消すべきかについても検討・分析が望まれます。

【優秀賞】 学習院大学

「ギャップイヤーを応用したデモワーク型奨学金の創設」

学習院大学チームの提言は、海外の若者にとって身近な「ギャップイヤー」を応用した制度を提案されております。借りる側にも相応の努力を求め、「奨学金問題」を解消しようとする発想は重要だと思いました。また、デモワークは、学生にとって、就業意識を高め、今後のキャリアに関する不安を払拭できるなど、長期的にみれば多くのメリットがあります。

加えて、高校生・大学生を対象としたアンケート調査や、デモワークを豊島区でスタートさせる場合を想定し、運営可能な参加社数を試算するなど、地に足が着いた提案となっている点が評価できます。

なお、①企業にとってのコストとメリットの比較検討、②ギャップイヤーの本来の趣旨との関連性について、更に具体的に検討し、より良い制度となるようブラッシュアップして頂ければ幸いです。

【優秀賞】 弘前大学

「ソーシャル・インパクトが照らす未来 ～健康が生み出す新たな収益フロンティアの獲得～」

弘前大学チームの提言は、中小企業を中心とする従業員の健康改善という目的を、ソーシャル・インパクト・ボンドを活用することにより、達成しようという非常にチャレンジングな試みであります。

先輩が提案した「中小企業向け健康プログラム」を分析・修正した上で、実際の職場における試行実験を実施すると同時に、企業や健保協会へのヒアリングを実施しております。

「医療費削減のメリットは、主に企業外部の健保が得る」という外部性を内部化すべく、医療費削減・税収増加といった健康活動によって得られる社会全体のリターンを投資家に還元する仕組みを提案されております。

なお、①医療費削減・税収増加を企業や従業員に直接還元する方法との比較検討や、②投資家が長期間の投資を行うリスクに見合ったリターンを得られるのかの検討等を進めていただければと思います。

【敢闘賞】 東京経済大学

「盤上に描く未来 ～若者たちの資産形成に向けた提案～」

東京経済大学チームは、少子高齢化に伴い個々人が資産形成をしていく必要がある中、①学校における金融教育には実践の場が少ないこと、②老後の生活資金・教育費・住宅費といった人生のイベントにおける必要額を認識していない人が多いことから、「ライフイベント」と「資産運用」を組み合わせたボードゲームを提案されております。

また、金融商品には、国内・海外の債券と株式があり、リスク・リターンの関係を考慮する仕組みになっております。これにより、当ゲームは、ライフイベントを認識するに止まらず、内外景気・為替動向に応じた資産運用を学ぶことが可能となっており、大きな学習効果が期待できます。

今後、①当ゲームにおいて期待する学習効果の具体的な内容、②期待する学習効果に基づく当ゲームの最適なルール等について検討していただき、更なる金融リテラシー向上に関する提案が生まれることを期待しています。

【敢闘賞】 中央大学

「為替でGO! ~FinTechによる経済の効率化!~」

中央大学チームは、個人の為替両替需要と課せられる為替手数料に注目し、供給・需要サイドともにメリットが大きい新たなビジネスを提案されております。

また、独自のアンケート調査により、個人の為替両替の現状を把握されております。この現状把握から、両替手数料の削減と利便性を同時に実現するスキームを提案されております。

アプリ掲載の広告料を広範に集めることによって、現在のクレジットカードの両替手数料を引き下げようという意欲的な提言です。

そのうえで、①どの程度のアプリの広告収入を獲得できるのか、②その広告収入によって、両替手数料の引下げが可能なのか、③各国の法制度をクリアできるかについて、検討した上で、消費者にとって有利な選択肢となる旨を立証することが期待されます。

3. おわりに

今回の発表論文に関する講評は以上です。日本銀行では、来年度も日銀グランプリを開催する予定です。本日の決勝進出チームの皆さんのように、多くの学生の方々が、身近な生活や大学での勉学をきっかけに健全な問題意識を養い、自ら主体的に考え、仲間と議論しながら提言を作り上げることを通じて、金融・経済面の課題に挑戦していただきたいと思います。

以 上